

多死社会の行政サービス—超高齢・独居増社会のニーズに応える

終活支援と死亡・相続手続き—窓口の開設と運営

～自治体の相談・支援とワンストップサービスの行政施策化方策～

□ 超高齢社会の終活取組み事例—激化する終活トラブル事例と独居者応援の仕組みづくり

■ [大和市] 「おひとり様」終活支援事業—「人生の卒業準備を応援します」の仕組みと運営

□ [藤枝市] ご遺族手続き支援コーナー—窓口設置の目的と仕組み、運営、効果と課題

■ [船橋市] 死亡・相続手続きワンストップサービスの実証事業—目的・成果と横展開

2019年12月23日(月) 10:00～16:30 剛堂会館・会議室(東京・千代田区)

- 【講師陣】 **佐々木 悦子** 氏 / (一社)日本エンディングサポート協会理事長、エンディングコンサルタント
五ノ井 博之 氏 / 大和市健康福祉部健康福祉総務課おひとりさま支援担当
岸本 倫子 氏 / 藤枝市市民文化部市民課主幹兼窓口係長
千葉 大右 氏 / 船橋市市民生活部戸籍住民課主査 / 企画財政部政策企画課(総合計画担当)兼務、総務省地域情報化アドバイザー

【参加要領】

■ 会場：剛堂会館・会議室
 東京都千代田区紀尾井町3-27
 (案内図は申込後送付)

■ 参加費 (1名分)

	1名参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	28,000円
一般	35,000円	38,000円

※メディア参加申込みの方は、研修会終了後にCD(講演収録・音声のみ)と資料及び請求書をお送りいたします。

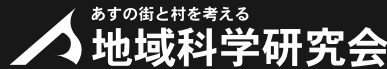
※参加費の払い戻しは致しませんので、申込みの方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席またはメディア参加とさせていただきます。

■ 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い
 みずほ銀行麹町支店 普通1159880
 三井住友銀行麹町支店 普通7411658
 三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767
 郵便振替：00110-8-81660 口座名：(株)地域科学研究会

■ 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい。
 (FAX・郵送・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区平河町2-3-10
 ライオンズ平河町101
 TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0093
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp 2019年 月 日

■ 研修会『終活支援と死亡・相続手続き』への参加 当日参加 メディア参加

勤務先 _____ 連絡担当者 _____

所在地 _____ TEL _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____ FAX _____

_____ Email _____

(通信欄) ○を付けて下さい
 支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)
 必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)
 請求書等宛名： _____

時	講 義 内 容
10:00 ～ 11:20	<p>最近の終活事情 (一社)日本エンディングサポート協会理事長 エンディングコンサルタント 佐々木 悦子 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 終活と人生会議 2. 超高齢社会における地域社会問題 3. 自治体での終活取り組み事例 4. 激化する終活トラブル事例 5. 一人暮らしを応援する仕組みづくり <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
<small>〔佐々木 悦子(ささき えつこ)氏プロフィール〕エンディングコンサルタント。短大卒業後、証券会社、互助会等での勤務を経て、2006年NPO法人ライフデザイン研究所副理事長に就任。葬儀・お墓のスペシャリストとして活躍。2012年10月より現職。著書に「知っておきたいお葬式Q&A」(小学館)等。</small>	
11:30 ～ 12:50	<p>〔神奈川・大和市〕「おひとり様」などの終活支援事業 ～「人生の卒業準備を応援します!」の仕組みと運営～ 大和市健康福祉部健康福祉総務課おひとりさま支援担当 五ノ井 博之 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事業開始の背景 ～市民ニーズに応えるため事業をリニューアル～ 2. 「おひとり様などの終活支援事業」とは ～行政コストをかけずに市民の想いをバックアップ～ 3. これまでの相談事例から ～人生の最後は「立つ鳥跡を濁さず」～ 4. 今後の展望 ～出来る限り市民に寄り添う事業を～ <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
<small>大和市は、2016年より一人暮らしの方や夫婦・兄弟姉妹のみで暮らす市民を対象に、葬儀の生前契約や安否確認、死亡の事実やお墓の場所などの情報を市が必要な人に連絡する仕組みである「葬儀生前契約支援事業」を開始。これまでに150件を超える相談を受ける。2018年6月からは、経済的な状況や親族の有無といった条件を外し、事業を拡大して取組みを進めている。</small>	
13:50 ～ 15:10	<p>〔静岡・藤枝市〕「ご遺族手続き支援コーナー」の取組について ～死亡後の手続きを市民に寄り添って支援する窓口の開設～ 藤枝市市民文化部市民課主幹兼窓口係長 岸本 倫子 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ご遺族手続き支援コーナーの設置プロセスと概要 2. 運営体制 3. 設置の効果 4. 課題と今後の展望 <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
<small>藤枝市は県内初の「ご遺族手続き支援コーナー」(市民が死亡した際の必要な手続きを一括で扱う窓口)を2019年6月に開設。健康保険・年金・税金等の手続きで最大14カ所の窓口を回る必要があるところ、窓口1カ所で原則全ての手続きができるようにした。待ち時間や遺族の負担を減らすとともに、手続き漏れ防止に取り組んでいる。</small>	
15:20 ～ 16:30	<p>デジタル・ガバメントと死亡・相続ワンストップサービス 船橋市市民生活部戸籍住民課主査／企画財政部政策企画課兼務 総務省地域情報化アドバイザー 千葉 大右 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デジタル・ガバメントとは (1)電子行政のこれまで (2)行政手続きのデジタル化 2. 死亡・相続ワンストップサービスの概要 (1)なぜ死亡・相続手続きか (2)サービスデザイン思考によるアプローチ 3. 死亡・相続ワンストップサービスの今後の展開 (1)今年度行われている実証事業 (2)全国への横展開 <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>